

平成 30 年 4 月 20 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 30 年 4 月 20 日 (金曜日)

午後 4 時から午後 4 時 30 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲 委 員 鷲尾 達雄 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	遠藤 雄一
学務課長補佐	中山 玄	学校教育課長	小池 隆宏
子ども家庭課長	大矢 芳彦	保育課長	田辺 亮
青少年育成課長	斎藤 裕子	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久
学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 安達 紀子 教育総務課庶務係長 佐藤 裕
教育総務課庶務係 内藤 貴幸

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 25 号	附属機関委員の委嘱について

7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 4 月定例会を開会する。会議に入る前に、金澤教育部長から発言を求められているので、許可する。

(金澤教育部長) 長岡市教育委員会において、事務局職員の人事異動に伴い新体制となったので紹介する。

【金澤教育部長より、遠藤教育施設課長・小池学校教育課長・丸山学校教育課主幹兼管理指導主事・田辺保育課長・斎藤青少年育成課長の紹介】

◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 25 号 附属機関委員の委嘱について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 25 号 附属機関委員の委嘱についてを議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 長岡市栃尾美術館協議会委員について、前委員の異動に伴い、新たな委員を委嘱するものである。委嘱期間は前任者から引き継いだ平成 31 年 3 月 31 日までである。長岡市水族博物館協議会委員については、長岡市出雲崎町小

中学校PTA連合会からの推薦を受け、新たな委員を委嘱するものである。委嘱期間は平成30年5月1日から平成32年3月31日までである。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了する。

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、岡南小学校開校式報告について事務局の説明を求める。

(中山学務課長補佐) 平成30年4月9日に岡南小学校体育館において開校式を行った。出席者は、市長、教育長ほか教職員、新入学児童21人を除く全校児童118人、その保護者、来賓の方々である。同日の流れとして、開校式の後に始業式を行い、その後入学式を行ったため、開校式に新入学児童は出席しなかった。式では、高橋教育長から黒崎校長への校旗授与や、全校児童による新校歌の披露、児童代表による喜びの言葉の発表などがあった。新校歌は、長岡出身のアコースティックデュオひなたが、児童・保護者・地域の希望や願いを受け止め制作した。歌詞には、児童が考えた「金倉山」「笑顔」「大空」などの言葉が盛り込まれ、誰もが口ずさみたくなる、歌いやすく覚えやすい曲となっている。旧六日市小学校正面入り口には、地域の方からの寄附を受けて記念碑が設置され、岡南小学校体育館後部壁面には、六日市小学校と山谷沢小学校の校歌を掲げた。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 開会式に出席したが、とても微笑ましい雰囲気の良い開校式であった。また、子どもたちは新しい校歌をこの日に披露するために、ずいぶん練習したようであった。

(高橋教育長) 他に質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 次に、長岡市有形文化財「菩薩形立像」の指定解除について 事務

局の説明を求める。

(小熊科学博物館長) この度、長岡市有形文化財「菩薩形立像」が新潟県有形文化財に指定されたことに伴い、長岡市文化財保護条例第5条第3項の特定に基づき、長岡市有形文化財の指定を解除するものである。指定解除年月日は平成30年3月23日である。この菩薩形立像は、六日市地区の中潟町にある中潟観音堂で祀られていた仏像である。像の高さは1.5メートルほどで2体ある。その作風から地元で平安時代の後期に作られたものということであり、貴重な文化財であるということとで県の有形文化財に昇格した。中越地震の際に転倒し大きく破損したが、しっかり丁寧に修復した。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 市の文化財から県の文化財になったことで文化財としての価値が上がったと思うが、持ち主へのメリットは何かあるのか。

(小熊科学博物館長) 直接的にはないと思うが、時を経て文化財が傷んだり修復が必要になった場合、県の助成を受けることができる。

(高橋教育長) 県の文化財になったことによって、長岡市民が拝見しにくくなることはあるか。

(小熊科学博物館長) そのようなことはないが、観音堂を開くのはお盆の時期だけである。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 次に、長岡版ネウボラの充実「「ままりラ」「ままナビ」」平成29年度実績報告について事務局の説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 妊娠から出産まで切れ目のない支援ということで長岡版「ネウボラ」を展開している。その中でも出産直後のサポート強化部分について説明する。平成27年6月に始まったままりラは、主に助産師が産後のケアを行っている事業である。対象数は、出生数2,000人のうち、きめ細やかな支援を必要とする妊産婦300人で、既存の川東地区にあるままりラで200人、今年度新設する川西地区のままりラで100人を支援する。昨年5月に始まったままナビは、保育士から具体的な育児の方法を学ぶ事業である。対象者数は650人で、蔵王保育園が中心となり、今年度新規に開設する子育て支援センター5園、支所地域の子育ての駅、さ

らに平成 31 年度に新設する子育て支援センター 5 園で支援する。平成 29 年度のままりラ事業は 235 人の利用があり、述べ利用回数は 1,419 回であった。ままりラを 6 回程度利用し、その後、ままナビや子育ての駅を利用するケースが多いようである。利用者から、「育児に自信が付き第 2 子を授かった」という声や「県外出身だが子育て支援が充実している長岡市で暮らすため、長岡市内の家を購入した」という声があった。平成 29 年度は 92 人のままナビ利用があり、述べ利用回数は 586 回であった。こちらも 6 回程度利用し、その後、子育ての駅や保育園への入園へと移行するケースが多いようだ。利用者からは、「保育園の生活がイメージできた」、「子育てに自信が持てた」などの満足感のある声があった。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(青柳委員) ままりラを利用される方は、赤ちゃんも一緒に連れて来るのか。

(大矢子ども家庭課長) そうである。一緒に来て一緒に利用する。

(青柳委員) 予約制で半日 5 人以内の利用となっているが、同じ時間帯に 5 組までの親子の利用が出来るという認識でよいか。

(大矢子ども家庭課長) そうである。

(青柳委員) そうすると、同じ時間帯の利用者どうし顔を合わせることになるが、サークルとは主旨が異なるので、ままりラを利用しているところを周囲に見られたくないという考えの方もいるのではないか。それとも、同じような子育ての悩みを持つ方がいることで安心し、和やかな雰囲気となっているのか。実際の雰囲気を教えてほしい。

(大矢子ども家庭課長) 1 組でじっくり助産師や保健師と話したいと思っている方や、同じ悩みを持つ同士で歓談しながら友達の輪を広げていきたいと思っている方がいる。それぞれの相手の思いを汲み取りながら対応している。

(羽賀委員) ままりラのオープンの際に視察したが、あえて看板を大きく出さないなどの配慮があった。今後、新規に開設する施設についても同様にするのか。

(大矢子ども家庭課長) その予定である。

(大久保委員) 新聞に、新潟県内の大きな都市で待機児童がいるという記事が載っていた。長岡市外に居住の待機児童となっている方が、長岡市内の保育園に入園することは可能なのか。居住市内の保育園でないと入園は出来ないのか。

(波多子ども未来部長) 特別な事情がある場合に広域利用ということで入園を認めているが、枠がまだあるからという理由で市外の児童の入園を認めているケースは新潟県内ではまだない。関東都市部では協定を結び認めているようである。長岡市では待機児童はいないが、余裕があるわけではないので、長岡市民優先で入園を受け付けている。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 次に、平成30年度長岡市成人式について事務局の説明を求める。

(斎藤青少年育成課長) 5月3日に5地域、8月14日に山古志地域、8月15日に5地域において開催を予定している。対象人数は2,502人で、昨年より少し減少している。これは住民票の数値によるものだが、進学などで市外に転出した方も出席したいという問い合わせがあれば出席いただいております、対象人数は若干の増加が見込まれる。5月3日に開催される長岡地域の式典では、式典開始前に長生保育園の園児による太鼓演奏があり、岡南中学校卒業生2名が式典の司会進行を行う。市長、議長のお祝いの言葉の後、関原中学校の卒業生1名が新成人の決意表明を行う。そして、長岡地域中学校16校、特別支援学校、附属長岡中学校、県立聾学校計19校の当時の先生方からのビデオレターを上映する。閉式後は、ナカドマにてオープンカフェを実施し、ノンアルコールカクテルやコーヒー、抹茶を振る舞い、歓談の場を提供する。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(高橋教育長) これにて、協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し案内について、補足説明のあるものは挙手願う。

(小熊科学博物館長) 5月3日から6月17日に、科学博物館企画展示室において、開府400年に合わせて、科学博物館開館の地で長岡藩ゆかりの悠久山の自然をテーマに企画展を行う。また、5月25日から29日にアオーレ長岡にて長岡開府400年記念式典に合わせて、これまでの発掘調査の出土品を展示公開する。本丸二の丸のあった長岡駅周辺において開発があった際に、教育委員会が発掘調査を行ってきた。そこで出土した井戸の跡などの出土品を展示するので、ぜひご覧いただきたい。

(斎藤青少年育成課長) 5月16日から7月18日にかけて、親も育つ子育てセミナー幼児期コースを全8回にわたり開催する。様々な子育て分野の専門家に講師を依

頼した。秋には児童思春期コースの実施や、講演会も計画している。

(高橋教育長) 大変好評なセミナーであるので、今年度もたくさんの方から参加いただきたいと思います。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員